

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市藤棚地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

- ① 藤棚商店街の周辺には古くからの住宅密集地があり、急傾斜の坂道と狭あいな道路が多く、地域によっては緊急車両の通行が困難な場所も混在しています。高齢化率は西区では約 19.7%ですが、担当エリアは 26.6%と高く 30%を超えている地区もあります。
- ② 地域の課題としては自治会・町内会の役員の高齢化が顕著で、後継者探しに苦労している自治会もあります。
- ③ 第 3 地区社会福祉協議会は、自治会とは別に勉強会も開かれるようになっていきます。第 3 期地域福祉保健計画「にこやかしあわせくらしのまちプラン」（通称にこまちプラン）の達成に向けて、第 3 地区、第 4 地区の地区支援チームとして支援しました。
- ④ 今年度も、区社会福祉協議会と連携して、第 3 地区、第 4 地区社会福祉協議会の支援を積極的に行いました。
- ⑤ 地域ケアプラザは平成 30 年度藤棚地区センターとこどもログハウスと共に 6 月 3 日に「藤棚まつり」を開催しました。より多くの世代の方々にケアプラザを知っていただく機会になりました。

## (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ① 相談事例から認知症予防事業に発展して、更に東カフェとして認知症カフェがオープンしました。地域情報を集めたことで、相談があればその人に合わせた情報提供をすることができました。情報提供用のラックを支援別・施設別に分けるなど、来館者に分かりやすく提供できるよう整備しています。  
西区4ヶアプラザの事業チラシを一つのファイルにまとめ、必要に応じて他のヶアプラザの事業も案内するようにしました。
- ② 高齢者に関する相談は地域包括支援センターの3職種（看護師、主任ケアマネジャー、社会福祉士）が中心となり各関係機関と連携し、様々な場所に出向いて積極的にヶアプラザの機能や顔の見える関係づくりを行いました。
- ③ 民生委員児童委員協議会、シニアクラブ、ボランティアグループの会食等に出向き相談や出前講座・情報提供を行ってきました。また境之谷エリアとして、東部、西部の民生委員や自治会町内会長と連携の機会を作り地域の相談に応じました。  
生活支援体制整備事業について、地域に積極的に出向き、地域の現状と今後の展開について説明しました。
- ④ センター会議の中でどこでも相談が受けられるよう一覧表を作成して関係機関に配布しました。今年度は初めての試みとして、12/13に「出張みんなの相談窓口」を同時開催しました。
- ⑤ 子育て支援は、ろぜっと保育園と共催で未就園児向けの事業「ピーナツクラブ」を毎月第3木曜日に開催しました。毎回保育園の先生による相談タイムを設けるとともに、9/20はろぜっと保育園の園長先生、10/18は地域包括支援センターの看護師、2/21はもえぎ保育園の栄養士が講師となり、生活全般・けがや病気・食事等子育て中の不安への対応をしました。  
父子のスキンシップ及び父親同士の交流を目的として、9/15に父親育児支援講座「ハッピー子育て講座 育児も楽しむパパになろう！」を開催しました。開催日は父親が参加しやすい土曜日とし、8組の父子が参加しました。ろぜっと保育園の先生も参加し、父親の育児相談に対応していただきました。
- ⑥ 障がい児者支援として「とんぼ」を毎月第2・4火曜日に実施し、気軽に相談できる体制づくりを継続しました。また、西区地域自立支援協議会、西区内の障がい施設といっしょに障がい児者余暇活動支援事業に取り組みました。
- ⑦ 障がい施設と定期的に顔の見える関係づくりを行う機会を持ち、個別ケースの相談についても障がい施設や区役所等と連携を取りながら対応しました。

## (2) 各事業の連携

- ① 地域包括支援センター3職種と地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、所長で行う会議（6職種会議）を毎月開催し、情報の共有を行いました。また、地域の要望に合わせて出前講座や食事会、認知症サポーター養成講座、民生委員の学習会、個別・ヶアプラザレベル地域ケア会議等についても全員で協力し対応しました。
- ② 法人の地域アセスメントシート利用をして各地域の情報（役員交代や地域課題から発展したあずまカフェ）を得て事業に活用しました。
- ③ ヶアプラザの事業に参加している利用者と、相談ケースとの付け合わせをすることで、情報共有ができ、フォーマル・インフォーマルサービスに結びつける一助となりました。  
地域活動交流担当と包括担当で連携し、包括担当の介護予防のボランティアグループに対して、ボランティアの活動範囲を広げ、さらに新たなボランティア発掘も行いました。
- ④ 毎月の6職種会議でそれぞれの情報共有と、一緒に計画する事業の打ち合わせや実

施した後の振り返りをして、次の事業に繋げました。  
新たな事業としておでかけ3がスタートしました。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ①介護保険事業を含めてケアプラザとして人員配置基準を遵守しようと努力をしました。1ヶ月間の社会福祉士の欠員はありましたが、その間滞りなく、他の職員と協力して業務を行いました。
- ②法人内で年間研修計画を作成し、職員は研修に積極的に参加しました。研修内容としては、新採用研修、2年目フォローアップ研修、中堅研修、管理職研修など階層別研修や職種別研修を行い参加しました。
- ③法人内で職種ごとの担当者会議を定期的開催し、各ケアプラザで実施している事業の紹介や課題などの情報交換を行い、担当者の専門性や質の向上を図れるよう切磋琢磨しました。  
外部の研修も積極的に受講し、研修受講後には研修報告書を作成し、所内での伝達・回覧を行い、情報共有に努めました。法人の人材育成ビジョンに基づいた人材育成を行ってきました。
- ④個人情報やコンプライアンスの観点で、職員（パートを含め）全員に対し毎年情報セキュリティ研修を行う体制作りをしました。その上で定期的に職員会議などにおいて、事故をどのように防ぐか現状を踏まえて、認識が薄れないよう注意喚起と共に情報共有をしました。他で起きた事故についても所内会議で情報共有しました。法人全体としての情報セキュリティ研修が毎年行われ、それぞれの職種から出席をして、職種ごとに伝達研修も行いました。
- ⑤所内、法人内の各種会議において、地域包括支援センター及びケアマネジャーの公正中立性について確認を行いました。ケアマネジャーへのケース依頼の際には、法人の新規依頼表を成して状況が確認できるよう管理しました。
- ⑥居宅介護支援事業所は、まずはご相談された方が自分で選べるための情報提供として、ハートページなどで具体的に説明しました。

### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ①ケアプラザとして、第3・第4地区の地域の福祉保健活動団体と連携するために、連合町内会・民生委員児童委員協議会・地区社会福祉協議会・ふれあい会交流会・地域自立支援協議会等の定期的な会合や行事に参加し、日常的に情報交換等を行いました。
- ②第3地区は、第3地区懇談会や地区のイベント5/20「第6回 第3地区ふれあい春まつり」、5/13「防災訓練」、10/6「第3地区福祉フェスタ」に事務局として関わり、地域・施設等のネットワークづくりや活動の支援を行いました。  
第3地区社会福祉協議会は、区社会福祉協議会とともに事務局会議の参加や「赤い羽根共同募金」「一人暮らし交流会」等の支援を積極的に行いました。
- ③障がいや年齢に関係なくみんなが集える「地域丸ごと共生社会」をめざし、障がい・高齢・子どもが一緒に参加できる「やきいもを食べよう！」を1/14に開催しました。今回、初めて子ども会にも参加していただきました。次年度はこども会が無い所にもアプローチしていく予定です。

- ④ケアプラザを利用する子育てサークルや地域で子育て支援を行っている団体・主任児童委員・子育て活動拠点・区役所・連合町内会が参加して「子育てネットワーク会議」を3/27に開催する予定です。
- ⑤第4地区は、宮崎地域ケアプラザと協力し、第4地区社会福祉協議会の三者交流会や夏休み・冬休みの「みんなの食堂」、12/8「クリスマスコンサート」、3/9「みんなのまつり」に参加しました。ケアプラザとして、第3・第4地区の地域の福祉保健活動団体と連携するために、連合町内会・民生委員児童委員協議会・地区社会福祉協議会・ふれあい会交流会・地域自立支援協議会等の定期的な会合や行事に参加し、日常的に情報交換等を行いました。

#### (5) 区行政との協働

- ①西区地域福祉保健計画「にこやかしあわせくらしのまちプラン」の6つの基本目標に沿って地区支援チームの一員として、区役所や区社会福祉協議会とともに取り組みました。
  - <安全が確保され安心なまち>
  - ①地域全体でサポートを必要とする人を見守るために、ミニデイサービスや自主事業の参加者、その他ケアプラザの機能を活用して地域の中で支援のネットワークを構築するよう、地域ケア会議などを通して働きかけを行いました。高齢者の権利擁護や悪徳商法に対する普及啓発を様々な場面で行いました。
  - <活気にあふれ健康なまち>
  - ①健康づくりの体操教室や介護予防教室を開催しました。ミニデイサービス「赤い靴」や地域への出前講座などで介護予防に関して、地域に対する啓発活動を行いました。
  - ②認知症の方を地域で守り、支えていくための啓発事業として「認知症サポーター養成講座」の開催を藤棚キャラバンメイトチームと共に行いました。さらに認知症予防についても学ぶ機会を作り地域に発信しました。
  - ③顔の見える関係づくりと健康づくりのために、浜松町公園で毎週土曜日にラジオ体操を引き続き行うと同時に、参加者にも受付を手伝ってもらい、更に自主的な取り組みを進めました。
  - <一人ひとりの個性を認め合いみんなが共存するまち>
  - ①障がい児の放課後支援事業を発展させ、障がい児者余暇支援「とんぼ」として月2回開催しました。
  - ②福祉施設8館で「第3地区福祉フェスタ」を開催しました。又今年度は初めて8館で「にしよこ就職フェア」を行いました。それぞれの施設の特色についての理解を深めてもらう機会にもなりました。
  - <地域全体がつながりを持つまち>
  - ①第6回「第3地区ふれあい春まつり」を5月20日に開催し、地域の様々な団体からの参加を得ました。また6月3日には、地区センター・ログハウスとの共催で「藤棚まつり」を開催しました。その他西区のおまつりである「区民まつり」にも法人内3事業所（戸部本町地域ケアプラザ・ケアセンターにし）と法人本部と共に参加させていただきました。12月の第4地区の「ふれあいクリスマスコンサート」や3月の「みんなのまつり」にも6職種で調整して参加しました。
  - 「第3地区福祉フェスタ」で第3地区懇談会がスタンプラリーを行い、福祉施設と地域との結びつきを更に強められるよう進めました。
  - <子どもが健やかに成長できるまち>
  - ①子育て支援事業として「ピーナツクラブ」を「ろぜっと保育園」との共催で毎月行いました。昨年行われて好評だった父親育児講座も引き続き行いました。
  - ②稲荷台小学校キッズへの出前講座や2/16「にこまちフォーラム」への参加等、「にこまちプラン」を応援する地域の子どもたちの活動を支援しました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ①地域のニーズを把握し、年間計画に沿って、地域の高齢者・子育て世代や男性向け等、対象者別に参加できる場を提供しました。
- ②高齢者向けの介護予防として第2・4日曜日「さわやか体操クラブ」、居場所づくりとして第2土曜日に「みんなで唄おう」、第4日曜日に「一の会」、単発事業として12/1に「藤棚コンサート」、を開催しました。また、今年度新規に、介護予防及びボランティア活動の場提供として「GOGO 脳トレ!」、介護予防として「3B体操をしませんか?」、外出支援及びボランティア活動の場提供として「ギターをひこう!」、2/28に「折り紙教室」を開催しました。  
「3B体操をしませんか?」は高齢者向けと子育て世代向けの体操グループとして2つのグループが、「ギターをひこう!」はボランティアグループとしてそれぞれ自主化しました。
- ③子育て支援事業として、「ピーナツクラブ」を「ろぜっと保育園」との共催で毎月第3木曜日に開催しました。今年は新たにケアプラザで立ち上げた読み語りグループ「ぱれっと」と横浜中央図書館との共催で幼児向け絵本の選び方と読み聞かせの会を11/15開催しました。また、2/21には「もえぎ保育園」にご協力いただき、保育園栄養士による食育講座を開催しました。  
9/15に父親育児講座「ハッピー子育て講座 育児も楽しむパパになろう!」も引き続き開催しました。(再掲)  
7月には子育て世代向けに親子で体操する「3B体操をしませんか?」を開催しました。
- ④障がい児者余暇支援「とんぼ」は、今年度から内容を一新しました。月2回のうち、1回はボランティア指導によるヨガ教室、もう1回は散歩や季節の作り物等、様々な方に興味をもっていただけるよう内容を工夫して開催しました。知的・身体・精神、障がいの分野に関わらず、様々な方に参加していただけるようになりました。「やきいもをたべよう!」は、町内会・子ども会とも連携して1/14に開催しました。今年は初めて子ども会にも参加していただき、障がい・地域・施設が一緒にみんなで焼き芋を焼いて、みんなで食べることを楽しみました。
- ⑤隔月発行の広報紙「夢だより」で、ケアプラザの自主事業や貸館団体の活動の周知を行い、参加者を増やしました。
- ⑥高齢者向け自主事業は、できるだけ自主化を促しています。毎週開催している「情報アドバイザー活動」は来年度からボランティアグループ「e ネットにし探検隊」の自主活動として自主化を予定しています。  
参加者・講師・ボランティア、共に高齢化してきており、介護予防の一環として一人ひとりの支援と長年慣れ親しんだ講座や団体を維持できるように、引き続き後方支援しています。また、人数が少なくなり活動が難しくなった団体には、別の活動をご紹介します等して、できる限り外出する機会、ケアプラザに来ていただく工夫をしました。
- ⑦藤棚地区センターと合同で「藤棚まつり」を6月3日に開催し、800名を越える地域の方々に来ていただきました。今年度は始めて、境之谷子どもログハウスの「ふれあい動物園」と同日開催で、ケアプラザエリアのまつりとして一緒に盛り上げました。まつりの運営ボランティアを一般募集し、ケアプラザとあまり関わりのなかった方にも参加していただきました。
- ⑧サブコーディネーターが企画する自主事業「スノードームをつくろう!」を12/2に開催し、4歳から80歳台まで多世代の方々に参加していただきます。
- ⑨にこまちプランを応援する地域の子どもの活動「にこまち子ども応えん団」を支援しました。(再掲)
- ⑩ケアプラザに来ることが難しい地域の高齢者に向けて、ケアプラザの外に出て、県営藤棚アパート自治会館をお借りして高齢者向けサロン「山のうえサロン」を開催しました。

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ① 新たな貸館団体登録時に、利用団体の方々が、気持ちよく利用でき、地域で活発に活動していただけるように、貸室の手引きを活用し説明しています。また、2/1に「貸室懇談会」を開催し、全登録団体に向けて説明しました。  
西区4ケアプラザの事業チラシを一つのファイルに集約し、必要に応じてご案内し他施設の情報も提供しました。また施設を利用するにあたり、年1回のアンケートを実施しました。受付カウンターには「なんでもご意見箱」を設置し、ご意見・ご要望等には出来るだけ迅速な対応ができるように努めました。
- ② ケアプラザのホームページに貸室の空き情報を掲載し、ボランティア個人やグループの活動を支援しました。
- ③ 団体間の連携が図れるよう2/1に「貸室懇談会」を開催し、団体間のネットワーク構築を支援し、それぞれの団体の活動も活発になるよう努めました。
- ④ 今年度初めて、貸室団体等合同の事業「おそうじ大作戦！」を開催し、施設の利用環境を整えると同時に団体間の交流を図りました。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ① 現在ボランティア活動をされている方が継続して活動を続けられるよう、ボランティア活動の手引きを必要に応じて更新し、相談や調整を行いました。また、65歳以上の方に、「よこはまシニアボランティアポイントカード」の登録を呼びかけ、西区内で開催される講習会をご案内しました。
- ② ボランティアグループの立ち上げや既存のグループの継続を支援しました。  
ケアプラザの自主事業「ギターをひこう」から新たにボランティアグループを立ち上げたり、読み語りグループ「ぱれっと」の活動場所が広がるよう区内の施設に働きかける等の支援をしました。
- ③ 団体Ⅱとして登録している趣味のグループが、年に2回以上の福祉保健活動に取り組めるように支援しました。今年度は「藤棚まつり」やケアプラザの自主事業、ケアプラザ内の清掃活動、2/1に開催した「貸室懇談会」に参加された団体にはケアプラザの玄関ホールに「ひな人形」を飾るお手伝いをしていただきました。
- ④ 3/11に「藤棚ボランティア感謝会」を開催し、日頃の活動を労うとともに情報交換の場として、活動の広がりが得られるようにしました。  
小中学生がボランティア体験を通して福祉の心が育つよう、活動の場を提供します。今年度は学童クラブと放課後デイサービスの利用者にデイサービスでのボランティア活動をしていただきました。

## (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 自治会・町内会や民生委員児童委員協議会、シニアクラブ、ボランティアグループの会食会等に参加し、情報収集および情報提供を行いました。
- ② ホームページを随時更新し、広報紙地域版を年6回発行しました。
- ③ 2/1に貸室懇談会を開催しました。ボランティア感謝会は3/11に開催しました。
- ④ 情報提供用のラックを支援別・施設別に分け、随時整理する等、来館者に分かりやすく情報提供できるよう整備しました。
- ⑤ 西区4ケアプラザの自主事業チラシを一つのファイルにまとめ、必要に応じて他のケアプラザの事業も案内しています。

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 事業実施体制

- ①6 職種会議を月に1度実施し進捗状況や課題を共有しました。
- ・CP版生活支援体制整備推進会議を3回実施し、6職種で地域支援計画を設定しました。
- ②地域や関係機関に向けて、生活支援体制整備事業についてチラシを作成し、地域の掲示板や回覧を実施、また、CP広報誌等を活用してそれらを、広く発信しました。
- ・出前講座にて、「おでかけ3」「あずまカフェ」について周知しました。
  - ・地域向けに、生活支援体制整備事業「おでかけ3」について広報誌「おでかけ3だより」を作成しました。  
第4号まで発行済み(H30.11月現在)
  - ・第三地区懇談会発行「にこまち3」にて、生活支援体制整備事業「おでかけ3」について の記事を掲載しました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ①6 職種と協働し、昨年度から取り組んでいる、自治会・町内会別区版の地域アセスメントシート作成について、継続および更新し、地域の状況や資源など、常に最新の情報を把握しました。
- ・西区ヒアリングシートの内容を包括支援センターとともに検討し、藤棚地区センター・稲荷台コミュニティーハウスへ配付しました。21部回収済み(H.30 11月現在)
  - ・包括支援センターと協働し、Fマンションへアンケートを実施しました。120件中41件回収し、「お手伝いをしたい」と回答した方を把握することは出来ましたが、「困っていること」の実態を把握するまでには至りませんでした。アンケートの結果を住民と共有しました。
- ②把握した情報を基に、6職種で共有して活用しました。
- ③「ばあばの家あさだ」を生活支援コーディネーターがヒアリングし、要支援者等の利用者が少ないという情報を包括支援センターと共有した。その後包括支援センターがチェックリスト実施しました。  
事業対象者1名が「ばあばの家」とつながりました。(H30.11月現在)

ケアマネジャー等介護保険事業所にインフォーマルサービスの情報提供等を行いました。

- ・ケアマネジャーへ向けた、「高齢者の居場所に関する地域資源リスト」を作成しました。
- ・ケアマネジャー向けの包括支援センター主催の研修やケアマネサロンへ参加し、事業の周知を行いました。
- ・認知症への理解を深めるための冊子を作成するプロジェクトに参加、商店街に配布しました。

## (3) 連携・協議の場

- ①東久保町にあるグループホームフィニックスでの認知症カフェに関する協議体「あずまカフェ実行委員会」を立ち上げました。3回協議体実施済み(H.30.11月現在)あずまカフェ(10月13日より、毎月第2土曜日オープン)
- ②「おでかけ3」に関わる地域の方が主体的に実施に向けて協議できるように積極的に地域へ働きかけました。
- ・第3地区地域の集いにて「おでかけ3実行委員会」が主体的にグループワークの司会を行い、「買い物支援・移動支援」について検討しました。

・おでかけ3実行委員会主催の「移動支援」に関する講座を企画しました。

③高齢者世帯の多いマンションにて地域ケア会議を行うことでネットワークを構築しました。

・Fマンション住民である「高齢親・障がい子」のケースについて個別レベルの地域ケア会議を、西区自立支援協議会個別支援部会と協働して実施しました。民生委員、マンション住人も参加しました。子が安定すると、親の生活も安定するので、障がい者支援機関と地域住民が顔の見える関係になり、日常のご本人たちの変化に気づきやすく、さらに対応の仕方について、地域住民が専門家に話を聞くことが出来るようになりました。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

①西区共通の課題の解決に向けて区役所や区社協、他ケアプラザとともに、西区ケアマネジャーに向けて、「西区生活支援コーディネーター通信」を発行しました。第2号まで発行済み(H30.11月現在)

・第2号の広報誌裏面、藤棚担当エリアの地域資源について記事を作成しました。

・広報誌作成にあたり、西区4包括支援センターへ、協力の依頼し、西区内のケアマネジャーに向けてともに情報を発信するよう働きかけました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

①地域の社会資源や地域のネットワークを法人独自のアセスメントシートに取り込み、作成することで情報を管理し、6職種会議や日々の業務の中で時間を作り、6職種で共有しました。

今後このアセスメントシートを活用し、新たな社会資源マップ作りをしていきます。

②地域包括支援センターへの理解が深まるように、地区懇談会をはじめ地域の祭りや行事に積極的に参加し交流を深め、情報の収集に努めました。また、34回の出前講座を開催し各種情報を提供しました。

③民生委員勉強会、自立支援協議会、課題別分科会への参加の他に、グループホームや障害関係団体との会議や行事への参加を通して情報交換し連携関係を深めました。

#### ① 実態把握

①地域包括支援センターへの相談を日計集計表にまとめデータ管理をしています。今年度は昨年度に比べ成年後見制度の相談件数が増えたこと、認知症の相談が藤棚町に増えたことなどがわかりました。

②地域のお祭り、シニア会、ばあばの家などの地域の活動場所に参加し、地域の方々との交流や30件を超える出前講座を通して、地域の情報収集やニーズの把握に努めました。

③家族等の高齢と障がいの関わりについて、日計集計を行い、その中の事例について個別支援会議を開催したことで、障がいの訪問看護事業所や障害関係団体とつながり、連携・支援に結びつけました。



## ① 総合相談支援

- ① 高齢者に関する様々な相談を受け止め、個別記録を作成しました。個別記録は3職種で常に共有し、訪問ケース等継続的に支援する必要のあるケースについては、月1度の3職種会議にて支援方針を検討し連携して取り組むことで適切な支援に努めました。新規相談件数の順は、家族、本人、自治会長や民生委員、医療機関の順となっており、医療機関からの相談が増えています。
- ② 相談内容に応じて適切な情報を提供し、必要に応じて区高齢・障害支援課や地区社協などの関係機関と連携し、成年後見制度やあんしんセンター、消費者生活総合センター、法テラスへつなぎ、地域活動やケアプラザで行う事業への参加へつなぎました。次年度は、藤棚ハイツの見守り活動や予防メイトなどのインフォーマルな活動を包括で支援し、相談を地域へとつなげるように努めていきます。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ① 地域住民やケアマネジャー向けに、西区在住の司法書士を講師に招き、「成年後見制度を学ぼう！」という講座を開催し、成年後見制度の普及啓発に取り組みました。好評であったので、引き続き次年度もケアマネジャー向けの勉強会を開催する予定です。また、西区4包括社会福祉士で家族信託・成年後見制度の講座を開催しました。
- ② 成年後見制度が必要と思われる個別ケースについて、法テラスやリーガルサポートなどの関係機関・専門機関と相談しながら、情報提供および助言を行い、成年後見制度利用に結びつけ、家裁へのつきそいも行いました。

### ② 高齢者虐待への対応

- ① 高齢者虐待防止について、西区4包括社会福祉士で、デイサービス向けに虐待防止研修を6回行いました。
- ② 虐待や虐待と疑われる相談・通報については情報収集を行い、区高齢・障害支援課と連携して支援しています。今後も十分なアセスメントを心がけ情報を収集し、包括内でも共有・吟味しながら対応をすすめていきます。今年度の虐待に関する相談は9件で、虐待相談票を1件提出しました。相談票提出に至らなかった相談は、包括で多機関と連携・支援することで解決に至っています。
- ③ 介護者支援の取組みとして、「男性介護者の集い」を4回、「あけぼの会交流会」を2回開催しました。次年度は、参加者を増やしていく為の工夫や日程の調整を検討し、介護者支援の充実を図っていく予定です。また、認知症の家族及び本人の支援として、東久保町の「あずまカフェ」の運営を支援しました。介護者の精神的な支えとなる場所の情報をチラシや回覧版で配布したり、地域の集いで紹介するなどして地域に広く提供することに努めています。

### ③ 認知症

- ① 包括支援センターが窓口となり5件の認知症サポーター養成講座を開催しました。それぞれの会ごとにメイトの自立を目的として、担当メイトに計画書・報告書作成送付まで、担っていただきました。又包括エリア内のヤクルト販売所1回、郵便局1回、あずまカフェ1回と中央郵便局2回の、「認知症サポーター養成講座」を行い、認知症の正しい理解の促進に努めました。  
次年度は、認知症サポーター養成講座を商店街で開催していきたいと考えています。
- ② 包括エリア内の認知症キャラバンメイト交流会を平成29年から年2回の予定で開催していましたがメイトの希望により年4回の開催となり3回終了しました。
- ③ 認知症で介護負担の大きいご家族には、西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」を案内し、連携をとりながら支援しています。(再掲)
- ④ 認知症サポート医を中心に「認知症の方を支える家族のための多職種ミーティング」を開催する予定です。
- ⑤ 認知症初期集中支援チームと連携し、認知症の方やそのご家族に対し、早期に医療や介護につなげていくように努めました。相談2件。
- ⑥ 「認知症カフェ」の立上げについて、計画時から関わり、実現に向けて支援しました。(再掲)
- ⑦ コンビニガイド作成委員会に参加し、区、メイトさん、他包括と意見交換をし、コンビニガイドを作成しました。薬局、店舗を訪問しガイドを配布しています。来年度は藤棚商店会にガイドを配布し、認知症サポーター養成講座につなげることを目標とします。(再掲)

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ① 地域の町内会館等に出向き、地区社協主催の1人暮らし交流会、町内会主催の敬老会等に参加し、介護予防、健康講座、認知症について等、6職種で出前講座(39件)を行いケアプラザとの連携を推進しました。
- ② 6職種が民生委員児童委員協議会の定例会にて、「生活支援体制整備事業」、「介護保険制度」、「権利擁護」、「介護予防」等の勉強会を行い新しい情報をお伝えし、高齢者支援等に役立てていただきました。
- ③ ケアマネジャーのケアマネジメントを支援するため、地域住民や関係機関等に対し、地域ケア会議や勉強会を通して、介護保険制度や、ケアマネジャーの役割などを周知し、連携の必要性を伝えました。
- ④ ケアマネジャーと民生委員児童委員協議会との連携の重要性をお互いに確認し、課題検討を行いました。民生・児童委員の意見を聞き3月のケアマネジャーの交流会に報告。来年度小さい単位で交流会を計画し、ネットワークを構築します。
- ⑤ 区社会福祉協議会主催の「高齢者福祉分科会」に参加し、地域で関わりの深い関係機関等との情報交換や、福祉に関する情報提供などを行っています。
- ⑥ ケアマネ支援事業「ケアマネぶらっと」にて地域のインフォーマルサービスの情報提供をしました。
- ⑦ グループホーム「フィニックス」にて計画中の「認知症カフェ」の立ち上げを支援しています。(再掲)

#### ② 医療・介護の連携推進支援

- ①地域の医療機関とケアマネジャーとの連携を図るため、今年度は訪問看護事業所とケアマネジャーとの交流会を4包括合同で開催しました。西区内の訪問看護6事業所に参加いただきました。
- ②日常的に医療機関、関係事業所からの退院についての相談を受け、必要時には西区在宅医療相談室と連携を図り、病院や自宅に訪問して、対象者の状況を把握し、ケアマネジャーやサービス事業所につながるよう調整し、在宅生活を支援しています。
- ③地域の方が利用している医療機関（医師・医療相談員等）、薬局に対し、良好な関係を作るため、訪問リストを作成し個別に訪問しています。今年度はエリア内の薬局を訪問し、認知症ガイド（お店版）、ケアプラザのリーフレットを置いていただき、薬局の方にも連携を希望しました。マッサージ接骨院などにも認知症ガイド、名刺をお渡ししました。
- ④西区医師会と連携を図るため、在宅医療相談室運営事務局会議に地域包括支援センターとして参加させていただいています。
- ⑤地域ケア会議を通して、医療・介護と地域をつなげ、連携を推進しています。今年度は個別ケア会議にて、在宅医療の医師に参加いただき、専門職と地域ボランティアの方と連携を図るため検討しました。

### ③ケアマネジャー支援

- ①ケアマネジャー同士の連携支援およびスキルアップを目標に、区4地域包括支援センター共催で「ケアマネサロン」を開催しました。内容は「課題整理総括表」「障害サービスについて」「医療連携」「災害研修」「質問力について」「事例検討」「アルコール依存について」「ケアマネ交流会」（参加延数187名）
- ②包括エリア内でケアマネジメントを行っているケアマネジャーを対象に、自主事業として「ケアマネぶらっと」を開催し、ケアマネジャーの困り事や悩み事をグループで話し合い解決策を考えました。また主任ケアマネジャー支援として、「ケアマネジャーが自ら研修会を企画する」事業を開催し、6月より毎月メンバーが自主的に集まり企画検討をし、3月28日に研修会が行われました。民生委員の勉強会に参加させていただきケアマネジャーとの連携について検討しました。  
来年度は町内別に民生委員とケアマネジャーの顔の見える関係作りを目的に事例検討を通して連携体制を構築します。
- ③ケアマネジャーからの依頼によりサービス担当者会議に出席し、支援困難事例、緊急時の対応など、より良い支援体制を作っています。（22件）
- ④ケアマネジャーからの相談を受け助言等の対応をします。支援困難な事例はカンファレンスを行い、問題解決に向けて支援しています。（490件）
- ⑤新人ケアマネジャー支援として、新人ケアマネジャー研修を平成31年1月18日に開催しました。3人の新人の方の担当をしました。
- ⑥介護予防ケアマネジメントおよび介護予防・日常生活支援総合事業について最新情報を提供し、自立に向けたプランが立てられるよう研修を行いました。またインフォーマルサービスの位置づけたプラン作成の勉強をしました。
- ⑦居宅介護支援事業所の選定が公平中立に行われるよう、エリアを担当する事業所リストを作成しています。現在、西区ケアマネ連絡会会員事業所に趣旨を説明し、情報を集めているところです。
- ⑧ケアマネジャーが困難と思われる事例を地域ケア会議にあげ、地域課題を抽出し、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと課題を共有し、地域の支援につなげています。
- ⑨ケアマネジャーと障害等福祉施設等連携が図れるよう、西区のガッツビーと、ねくさず、みらい工房西の協力を得て、当事者のお話を伺い、施設見学をしました。

## （4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ①今年度は医療関係者、地域の方、区役所、区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、サービス事業所等の多職種の方々を招き、「認知症予防」をテーマに地域における課題抽出と解決を目標としたケアプラザレベル地域ケア会議を2回開催しました。地域ぐるみで認知症の予防に取り組んでいただくために、横浜総合病院の長田先生に講義していただき、グループワークにて検討し発表しました。
  - ・その中で新たなグループ活動は結成されませんでした。個別に活動している方に認知症予防メイトとして声掛けしグループを作りました。シニアクラブなどへ、包括支援センター職員が日程調整をして、一緒に活動しています（3回）。
- ②ケアマネジャーを中心とし、個別ケース事例を多職種や地域の方とで検討し、地域課題に結びつけました（3ケース）。
- ④介護保険サービスを利用しながらも、地域とのつながりが継続できるよう、ケアマネジャーなどサービス事業者と地域（町内会長、民生委員）とのパイプ役となりネットワークを構築しています。

（5）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ①②ケアプランの確認時、目的志向型になっているか毎回管理者が確認し決裁をとるようにしています。必要であれば、担当から「目的の確認」や「状態に合わせたサービスになっているか」等、委託ケアマネに伝えています。
- ②要支援者がシニアクラブ等地域活動に参加している場合は、担当のケアマネジャーに伝え、それらを加味したケアプランを作成するよう伝えました。一部のケアマネジャーでは浸透しています。
- ③④委託ケアマネジャーから、いままで利用していた通所リハビリ事業所廃業に伴い、閉じこもり気味になってしまったという相談から、訪問型短期サービスにつながり、3か月で目標達成し終了となりました。

（6）一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ①「けんこう講座」は10回シリーズで認知症予防をテーマに開催し、20～40名の参加があり好評でした。1回目に音楽を取り入れたところ、新規参加者が多く継続参加も数名ありました。
 

29年から開催している久保山霊園での「歴史ウォーキング」を、区役所主催の「転ばんよ体操・富士山体操」と一緒に開催させていただき20名の参加がありました。エリア内の歴史に詳しい方々、町内会の会長・民生委員5名にお世話係となっただき事前に3回打ち合わせをし、事故もなく安全に行うことができました。区主催の「転ばんよ体操・富士山体操」啓発事業を東久保町エリアで開催の呼びかけをしたところ、主町内会以外の町内会の代表メンバーなど大勢参加があり、広く介護予防体操やヨガサイズなど認知症予防を広めることができました。シニアクラブの活性化にもつながりました。

また、これをきっかけに講師の依頼もあり、来年度から新たな地域での活動が開始

する計画がすすみました。

②ボランティアグループ「キラキラ会」は上半期で22件延べ152人の活動がありました。

・活動の内容として、「けんこう講座」の会場設営、受付、資料配りなどの講師補助、片付けなどの運営補助、手芸部での介護予防事業で使用する小物づくり、各お祭りでの健康チェックコーナーなどのブースでのお手伝い、シニアクラブでの体操講師、歴史ウォーキングでの受付、区役所主催の音楽療法での案内役など、様々なところで活躍できるよう、活動の場の開拓をして継続活動できるよう支援しました。

また、各まつりでキラキラ会としてブースを持ち、バザーができるように声掛けしました。結果、手芸部での小物づくり、それに伴う話し合いなど会として積極的な活動につながりました。

③エリア内の住民に新規に「元気応援団」登録をしてもらいました。また、団員に対してケアプラザの事業に重ならない限り、活動に参加してもらおうよう働きかけました。

④ボランティアグループ感謝祭をケアプラザ全体で協力して行いました。(H31年3月11日)

(再掲)

⑤元気づくりステーションの自立をすすめるため

に、お世話係の代表に定例会の仕方や議事録の書き方など、具体的に伝えました。活動を活発にするために、お世話係代表への声掛けを密に行い、会全体でモチベーションがあがるように、得意とすることを役割りとして依頼するなど工夫しました。

⑥生活支援コーディネーターと「ばあばの家」に出向き、事業対象者の発掘をし継続支援をしています。また「ばあばの家」で活動してくれるボランティアを既存のボランティアグループの中から繋げました。

## 5 その他


以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

- ①建物、空調設備、消防設備等の保守点検を定期的に行い、また日常清掃や消耗品の補充等における日常の管理を通して、ご利用者が安心して、また安全に利用いただけるよう努めました。
- ②感染予防のために毎日トイレ、手摺、ドアノブ等の殺菌消毒を行いました。

### (2) 効率的な運営への取組について

- ①労務、経理等の事務処理に関しては、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務の効率化に努めました。また送迎車両リース等の委託業者の選定にあたっては、電子入札を実施し経費削減を図りました。
- ②建物管理や保守に関しては、藤棚地区センターと複合施設のため共同委託することで、効率よく施設管理を行いました。

### (3) 苦情受付体制について

- ①労務、経理等の事務処理に関しては、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務の効率化に努めました。また送迎車両リース等の委託業者の選定にあたっては、電子入札を実施し経費削減を図りました。
- ②建物管理や保守に関しては、藤棚地区センターと複合施設のため共同委託することで、効率よく施設管理を行いました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 緊急時に落ち着いた行動が取れるよう、年に2回デイサービスのお客様や貸室利用者を含めた避難、消火訓練を行いました。藤棚地区センターと共催で5月13日に防災フェスタを行い、地域の方々と防災意識を高めました。
- ② 地域に要援護者の特別避難施設であることをPRするとともに、日頃から災害応急備蓄物資や防災対策マニュアルや土砂災害対策マニュアルを整備し、職員の意識を向上して災害緊急時に備えます。
- ③ 地域ケアプラザに配置されている、第3地区の防災無線の操作について、防災訓練等の中で確認しました。あわせて、特別避難施設としての開設手順等の確認をしていきます。又土砂災害訓練も行いました。
- ④ 地震等の大規模災害発生時に、サービスを必要とするお客様に可能な限り対応するため、事業継続計画（BCP）を整備しています。また、訓練を実施するとともに適宜見直しを行い適正な対応をいたしました。

#### (5) 事故防止への取組について

デイサービスなど介護サービス提供中に、ヒヤリハットしたことを、朝のミーティングで報告し、職場内で注意喚起しながら事故の防止に努力していきます。また所内での会議においても、他事業所の事故事例の共有や、事業所内の事故防止マニュアルを活用するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理の意識を高めます。月に一度の安全衛生委員会では、産業医に事故報告等を行い、事故防止への取組についても話し合いました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ① 法人では個人情報保護規程を定め、地域ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定め、個人情報保護、情報セキュリティ研修を年1回行い、意識の啓発に努めました。
- ② 実際の個人情報の取扱いとして、契約書・記録類は施錠できるキャビネットなどに保管します。USBは紛失の恐れがあるため、個人情報のデータは、所内サーバーを利用しました。
- ① 個人情報外部へ持ち出し厳禁にしていますが、どうしても携帯が必要な場合には、紛失や情報漏えいのないよう、法人オリジナルの個人情報保護用バッグに、必要最小限の情報のみを携帯するよう取り決めていきます。また、ファックス誤送信や郵便誤送付が起こらないよう、取扱い手順を決めて日常業務を行いました。
- ④ デイサービスのお客様の記録書等の取扱いについては、誤返却防止のために、看護師、生活相談員、介護スタッフで3段階チェックを行います。
- ⑤ 研修では『お客様の個人情報を大切に扱うことは「人を大切にする」と同義であり、サービスの基本である』ということ職員・パート職員で共有し、チェックシートの活用により業務の振り返りを行いました。

(7) 情報公開への取組について

- ① 情報公開の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開することに努めました。
- ② ホームページを活用して、各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

(8) 人権啓発への取組について

- ① 法人が開催する人権研修等に参加し、各職員には会議等の中で伝達研修を行い、一人ひとりが人権に関して考える機会を設け、人権啓発に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ① 節電・節水、コピー用紙の裏面活用・ごみの減量化を励行し、経費削減に取り組みました。「横浜市ごみゼロルート回収」のルールに従い、資源ごみの分別収集を行いました。ご利用者の方々には、ごみの持ち帰りや館内での禁煙について、ご理解・ご協力いただいております。職員・パート職員も自らのプラスチックごみの持ち帰りを継続して行いました。また、使用していない部屋の照明をこまめに消し、暖房・冷房の季節には適切な室温を維持するなど、節電への取り組みを行いました。
- ② 2ヶ月に1回、空気環境測定を行い、室内環境の適正な維持に努めます。外構の環境整備については、地域作業所の活動の場として清掃作業を委託しました。



## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

- ①地域包括支援センター（看護師・主任ケアマネジャー・社会福祉士）3名
- ②プランナー1名（非常勤）

#### 《目標に対する成果等》

- ①ケアプランの確認時、目的志向型になっているか毎回管理者が確認し決裁をとるようになっています。必要であれば、担当から「目的の確認」や「状態に合わせたサービスになっているか」等、委託ケアマネに伝えています。
- ②要支援者がシニアクラブ等地域活動に参加している場合は、担当のケアマネジャーに伝え、それらを加味したケアプランを作成するよう伝えました。1部のケアマネジャーでは浸透しています。
- ③委託ケアマネジャーから、いままで利用していた通所リハビリ事業所廃業に伴い、閉じこもり気味になってしまったという相談から、訪問型短期サービスにつながり、3か月で目標達成し終了となりました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 原則、お客様の負担金はありません。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①お客様の心身能力、生活能力、意欲などを総合的にアセスメントし、意欲を引き出せるよう工夫しました。その際、人から必要とされ生きがいの持てる生活が送れることを目的として、お客様と一緒にケアプランを作成しました。
- ②居宅介護支援事業所に委託する場合も、自立支援につながるようケアマネジャーへの支援を行いました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
123	122	125	129	125	120
10月	11月	12月	1月	2月	3月
124	118	117	116	120	120

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤専任 2名  
常勤兼務 1名  
非常勤兼務 1名

《目標に対する成果等》

- ①適正な保健・医療サービスおよび福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるように、公正・中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等の連絡調整を行いました。
- ②事業の実施にあたっては、行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- ③居宅サービス計画の作成にあたっては、お客様の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができることを目標としました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ①お客様からいただく負担金は、償還払いの場合を除き無料です。
- ②通常のサービス提供地域を超える地域に、訪問・出張する必要がある場合には、公共交通機関を用いて要した額を明細書等に基づいて徴収します。費用については、お客様とそのご家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨文書に署名（記名押印）を受けます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザは福祉・保健の活動拠点として、自治会・町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体など、地域の様々な団体が日頃から利用していただけるように努めました。また、地域の身近な相談窓口として、誰もが気軽に立ち寄れて相談できるよう努めました。平成29年度より特定事業所として「介護支援専門員実務研修における実習の受入れ」を行い平成30年度は4人を受け入れました。

《利用者実績》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
105	107	101	103	104	107
10月	11月	12月	1月	2月	3月
108	109	108	108	109	107

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- お客様が自立した日常生活を営むことおよびお客様のご家族の負担を軽減させていただくことを目標に、お客様の心身の特性を踏まえ、お体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、体操、レクリエーションを実施し、希望者には個別機能訓練、口腔機能訓練等を行いました。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等と連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

(要介護1)	692	円
(要介護2)	816	円
(要介護3)	947	円
(要介護4)	1076	円
(要介護5)	1205	円
・ サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	7	円
・ 個別機能訓練	60	円
・ 口腔機能訓練向上加算	161	円
・ 入浴介助	54	円
・ 中重度ケア体制加算	49	円
・ 同一建物減算	-101	円
・ 送迎減算(片道)	-51	円

● 2割負担分

(要介護1)	1383	円
(要介護2)	1632	円
(要介護3)	1893	円
(要介護4)	2151	円
(要介護5)	2410	円
・ サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	13	円
・ 個別機能訓練	120	円
・ 口腔機能訓練向上加算	322	円
・ 入浴介助	108	円
・ 中重度ケア体制加算	97	円
・ 同一建物減算	-202	円
・ 送迎減算(片道)	-101	円

● 3割負担分

(要介護1)	2075	円
(要介護2)	2448	円
(要介護3)	2840	円
(要介護4)	3226	円
(要介護5)	3615	円
・ サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	20	円
・ 個別機能訓練	180	円
・ 口腔機能訓練向上加算	483	円
・ 入浴介助	161	円
・ 中重度ケア体制加算	145	円
・ 同一建物減算	-303	円
・ 送迎減算(片道)	-151	円

●介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

- ・1ヶ月のご利用単位合計数の1000分の59相当の単位数の料金を加算。

●食費負担 650円

- ・通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。
- ・前日の営業時間終了までにご連絡がない場合には、キャンセル料（食材料費450円）をいただきました。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30（半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	・・・常勤兼務	1名
生活相談員	・・・常勤兼務	4名
看護職員	・・・非常勤兼務	8名
介護職員	・・・常勤専任	3名
	常勤兼務	4名
	非常勤専任	14名
機能訓練指導員	・・・非常勤兼務	8名
調理員	・・・非常勤専任	7名
運転手	・・・非常勤専任	6名
事務員	・・・常勤兼務	1名
	非常勤専従	2名

《目標に対する成果等》

- ①お客様が自立した日常生活を営むことを目標に、お客様の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて通所介護サービスを提供しました。
- ②通所介護計画書の作成にあたっては、個別ニーズを把握しお客様の意思を尊重し、心身状況、環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができることを目標としサービス提供を行いました。
- ③お客様に心地よく過ごしていただくため、職員の資質向上を図る研修を定期的に行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご本人様やそのご家族が見学を希望される場合には、随時対応しました。実際に見ていただいて不安を解消した上でご利用につながるようにお声掛けをさせていただきました。

- ① 厨房で調理した温かくおいしい家庭料理を毎回提供し、季節感のある行事食メニューをお楽しみいただきます。
- ② お客様の趣味や特技を生かしたレクリエーションの一環としてレーザーカラオケを導入し、午後のお帰りにカラオケを実施します。
- ③ 9:30~16:30のうち7時間のご利用をしていただきます。到着した方から順次サービスを開始させていただき、充実したサービス提供を行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
674	674	623	700	687	625
10月	11月	12月	1月	2月	3月
667	624	640	640	648	716

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 「介護予防通所介護（第1号通所サービス（横浜市通所介護相当サービス）計画）」等に沿って、送迎、入浴および食事の提供、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認やその他お客様に必要な日常生活上の支援並びに機能訓練（日常動作訓練）を行いました。
- 「介護予防通所介護（第1号通所サービス（横浜市通所介護相当サービス）計画）」等に沿って、お客様ができることはご自身で行いながら、社会的交流を持つことで、潤いを持った生活を楽しんでいただけることを目標にしてサービス提供を行いました。
- 事業の実施にあたり、行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分		
● 1割負担分		
（事業対象者 要支援1、要支援2 週1回程度）	1 7 6 6	円
サービス提供体制強化加算	2 6	円
（事業対象者 要支援2 週2回程度）	3 6 2 1	円
サービス提供体制強化加算	5 2	円
・運動器機能向上加算	2 4 2	円
・口腔機能向上加算	1 6 1	円
・同一建物減算		
（事業対象者 要支援1、要支援2 週1回程度）	- 4 0 3	円
・同一建物減算		
（事業対象者 要支援2 週2回程度）	- 8 0 7	円
● 2割負担分		
（事業対象者 要支援1、要支援2 週1回程度）	3 5 3 1	円
サービス提供体制強化加算	5 2	円
（事業対象者 要支援2 週2回程度）	7 2 4 1	円
サービス提供体制強化加算	1 0 3	円
・運動器機能向上加算	4 8 3	円
・口腔機能向上加算	3 2 2	円
・同一建物減算		
（事業対象者 要支援1、要支援2 週1回程度）	- 8 0 6	円
・同一建物減算		
（事業対象者 要支援2 週2回程度）	- 1 6 1 3	円
● 3割負担分		
（事業対象者 要支援1、要支援2 週1回程度）	5 2 9 7	円
サービス提供体制強化加算	7 8	円
（事業対象者 要支援2 週2回程度）	1 0 8 6 1	円
サービス提供体制強化加算	1 5 5	円
・運動器機能向上加算	7 2 4	円
・口腔機能向上加算	4 8 3	円
・同一建物減算		
（事業対象者 要支援1、要支援2 週1回程度）	- 1 2 0 9	円
・同一建物減算		
（事業対象者 要支援2 週2回程度）	- 2 4 1 9	円

●介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

- ・1ヶ月のご利用単位合計数の1000分の59相当の単位数の料金を加算。

●食費負担 650円

- ・通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。
- ・前日の営業時間終了までにご連絡がない場合には、キャンセル料（食材料費450円）をいただきます。
- ・月の途中からご利用の場合は、サービス契約日からの日割り計算となります。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30 （半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	・・・常勤兼務	1名
生活相談員	・・・常勤兼務	4名
看護職員	・・・非常勤兼務	8名
介護職員	・・・常勤専任	3名
	常勤兼務	4名
	非常勤専任	14名
機能訓練指導員	・・・非常勤兼務	8名
調理員	・・・非常勤専任	7名
運転手	・・・非常勤専任	6名
事務員	・・・常勤兼務	1名
	非常勤専従	2名

《目標に対する成果等》

可能な限り居宅において、要支援状態の維持、もしくは改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、お客様の意欲を喚起しながら支援しました。そのために、居宅サービス計画に基づいて「介護予防通所介護（第一号通所サービス（横浜市通所介護相当サービス））計画」等を作成し、サービスの提供を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

運動機能向上訓練をお客様個々のレベルに合わせて目標設定し、筋力の維持向上に努めました。

- ②通所介護事業と一体的に実施する中で、お客様相互の助け合いや学び合い、役割を持つ活動の中から、意欲や楽しみを見つけていただけるように、お客様同士の交流に力を入れて事業を実施しました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略てください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
104	94	88	84	82	79
10月	11月	12月	1月	2月	3月
79	62	74	60	52	55



平成30年度「横浜市藤瀬地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,631,871		16,631,871	17,205,000	△ 573,129	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	45,000		45,000	45,632	△ 632	
印刷代	45,000		45,000	42,940	2,060	
自動販売機手数料	0		0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	2,692	△ 2,692	G30古紙売払収入
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	2,782,500		2,782,500	2,782,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,617,669		1,617,669	1,617,669	0	
収入合計	21,077,040	0	21,077,040	21,650,801	△ 573,761	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000		11,313,000	13,366,854	△ 2,053,854	
本俸	8,585,120		8,585,120	8,776,622	△ 191,502	
社会保険料	1,103,653		1,103,653	1,278,897	△ 175,244	
手当計	1,355,715		1,355,715	3,093,620	△ 1,737,905	
健康診断費	76,700		76,700	43,084	33,616	
勤労者福祉共済掛金	8,250		8,250	0	8,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	183,562		183,562	161,313	22,249	
その他			0	13,318	△ 13,318	
事務費	1,358,000		1,358,000	1,170,665	187,335	精算書 内訳3-(2)雑収入控除前
旅費	12,000		12,000	8,299	3,701	
消耗品費	214,000		214,000	148,535	65,465	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費	145,000		145,000	81,692	63,308	
通信費	231,000		231,000	213,952	17,048	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	17,298		17,298	19,386	△ 2,088	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	51,000		51,000	39,331	11,669	
リース料	272,198		272,198	35,430	236,768	
手数料	49,216		49,216	0	49,216	
地域協力費	145,000		145,000	10,300	134,700	
その他	221,288		221,288	613,740	△ 392,452	その他 内訳3-(2) 一件10万円以上の契約を含む
事業費	306,000		306,000	348,828	△ 60,730	
運営協議会経費	42,000		42,000	24,098	17,902	予算・指定額
指定管理料充当 事業	264,000		264,000	324,730	△ 60,730	
管理費	7,150,000		7,150,000	5,292,544	2,230,225	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	2,818,000		2,818,000	3,190,769	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	742,951		742,951	739,161	3,790	
修繕費	474,000		474,000	733,990	△ 259,990	予算・指定額
機械設備費	166,273		166,273	74,823	91,450	
設備保全費	447,322		447,322	425,831	21,491	
空調衛生設備保守	208,455		208,455	191,030	17,425	
消防設備保守	48,664		48,664	47,606	1,058	
電気設備保守	20,815		20,815	20,811	4	
害虫駆除清掃保守	7,654		7,654	7,648	6	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	161,734		161,734	158,736	2,998	
共益費			0	0	0	
その他	2,501,454		2,501,454	127,970	2,373,484	Gルート回収費用
公租公課	905,040	0	905,040	1,069,348	△ 164,308	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	905,040		905,040	1,069,348	△ 164,308	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	21,032,040	0	21,032,040	21,248,239	138,668	
差引	45,000	0	45,000	402,562	△ 712,429	

自主事業費収入	264,000		264,000	275,500	△ 11,500	
自主事業費支出	264,000		264,000	600,230	△ 336,230	
自主事業収支	0	0	0	△ 324,730	324,730	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市藤棚地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,108,000		29,108,000	23,646,000	5,462,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0		△ 133,926	
印刷代	0		0	61,210	△ 61,210	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当事業)	0		0	72,716	△ 72,716	実習生
その他(提案時控除 法人負担分)	2,035,000		2,035,000	2,035,000	0	
収入合計	37,083,000	0	37,083,000	31,621,000	5,328,074	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	26,365,758	6,323,242	
本俸	18,502,620		18,502,620	14,945,983	3,556,637	
社会保険料	3,814,867		3,814,867	3,380,234	434,633	
手当計	9,668,708		9,668,708	7,500,685	2,168,023	
健康診断費	71,118		71,118	44,474	26,644	
勤労者福祉共済掛金	14,250		14,250	0	14,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	617,437		617,437	461,688	155,749	
その他			0	32,694	△ 32,694	
事務費	1,303,000	0	1,303,000	1,000,237	302,763	
旅費	32,000		32,000	37,377	△ 5,377	
消耗品費	77,000		77,000	78,637	△ 1,637	
会議諸費			0		0	
印刷製本費	72,000		72,000	56,497	15,503	
通信費	187,800		187,800	195,591	△ 7,791	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	17,298		17,298	19,386	△ 2,088	
職員等研修費			0		0	
振込手数料			0		0	
リース料	260,750		260,750		260,750	
手数料	29,131		29,131	17,338	11,793	
地域協力費	22,300		22,300	20,000	2,300	
その他	604,721		604,721	575,411	29,310	その他 内訳3-(2) 一件10万円以上の契約系を
事業費	1,190,000	0	1,190,000	587,623	602,377	
協力医	630,000		630,000	462,000	168,000	予算:指定額
指定管理料充自主事業(包括)	100,000		100,000	24,880	75,120	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	1,808	149,192	
指定管理料充自主事業(生活支援)	309,000		309,000	98,935	210,065	予算:指定額
管理費	1,901,000	0	1,901,000	1,406,867	494,133	
建築物・建築設備点検			0		0	予算:指定額
光熱水費	749,183	0	749,183	848,178	△ 98,995	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	197,491		197,491	196,483	1,008	
修繕費	126,000		126,000	195,110	△ 69,110	予算:指定額
機械警備費	44,198		44,198	19,889	24,309	
設備保全費	118,903	0	118,903	113,190	5,713	
空調衛生設備保守	55,410		55,410	50,779	4,631	
消防設備保守	12,936		12,936	12,654	282	
電気設備保守	5,533		5,533	5,532	1	
害虫駆除清掃保守	2,034		2,034	2,033	1	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	42,990		42,990	42,192	798	
共益費			0		0	
その他	665,225		665,225	34,017	631,208	Gルート回収費用
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	37,083,000	0	37,083,000	29,360,485	7,722,515	
差引		0	0	2,260,515	△ 2,394,441	

自主事業費収入	0			61,210		印刷代
自主事業費支出	0			337,833		地域包括 一般介護 生活支援 計
自主事業収支	0			△ 276,623		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 藤棚地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日  
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	9571560	3486714	6084846	22931580	21932562	999018	91657357	86296677	5360680	4640188	4944241	-304053
	その他	3974112	3817645	156467	0	291600	-291600	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	3974112	3817645	156467			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	認定調査			0		291600	-291600			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	13545672	7304359	6241313	22931580	22224162	707418	91657357	86296677	5360680	4640188	4944241	-304053
支出	人件費	2221311	2211987	9324	19160701	20572964	-1412263	69850601	74000734	-4150133	3444887	3649563	-204676
	事務費	4438642	65314	4373328	1023909	1206698	-182789	8215985	7154877	1061108	405195	352863	52332
	事業費	0	0	0	29218	6234	22984	11096842	11062185	34657	547273	544770	2503
	管理費			0			0			0			0
	その他	3974112	4556352	-582240	0	0	0	80232	152517	-72285	11664	19116	-7452
	利用者負担軽減額			0			0	80232	152517	-72285	11664	19116	-7452
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	3974112	4556352	-582240			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
	<b>支出合計(B)</b>	10634065	6833653	3800412	20213828	21785896	-1572068	89243660	92370313	-3126653	4409019	4566312	-157293
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>2911607</b>	<b>470706</b>	<b>2440901</b>	<b>2717752</b>	<b>438266</b>	<b>2279486</b>	<b>2413697</b>	<b>-6073636</b>	<b>8487333</b>	<b>231169</b>	<b>377929</b>	<b>-146760</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載してください。

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者支援	在宅で介護をする方と交流の機会を設けました。 「あけぼの会との交流会」「在宅男性介護者の集い」	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区社会福祉士 共催事業	権利擁護・虐待等について、地域住民を対象とした研修及び普及啓発を行いました。	7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度を 学ぼう	ケアマネジャーや地域住民を対象に、成年後見制度についての知識を深めてもらう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人生100年時 代に備える 資 金計画と住まい のこと	高齢期に備えるお金と住まいについての予備知識を深め、 高齢期に向けたライフプランの必要性を感じてもらう。	1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児者余暇 支援「とんぼ」	障害児・者の余暇支援活動。家や学校、作業所以外の人たちと接する機会を作り、活動を広げるように支援する。また、ボランティアの活躍場所の提供ともなっている。	毎月第2・4 火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
情報アドバイザー 「eネットにし探 検隊」	誰でも必要な情報を入手・発信できるようになることを目的に、ボランティアグループがパソコン操作を解りやすく丁寧に教えてくれます。	毎週水曜日

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山のうえサロン	介護予防、外出支援が目的。山のうえにある県営アパート自治会館に出向き、ケアプラザまで来られない高齢者に情報提供・情報交換を行います。体操と、脳トレを中心にして、お茶とおしゃべりを楽しみます。	毎月第2木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで唄おう	唄うことが好きな高齢者を対象にした、閉じこもり予防と仲間づくりを目指す介護予防事業。高齢者の外出支援、大きな声で唄って健康づくりをします。	毎月第2土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやか体操クラブ	転倒骨折・閉じこもり予防のお手伝いをします。仲間づくりができる体操教室です。	毎月第2・4日曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピーナッツクラブ	親子支援。毎月違う内容の行事を行い、家族同士の関係づくりをお手伝いします。	毎月第3木曜日 (8月は、変動あり)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性料理教室「作味会」	男性のための料理教室。簡単に栄養のある食事をとりたい男性の居場所づくりと仲間づくりの場です。	毎月第2木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一の会	心を静め書に向かう書道教室です。ケアプラザの周知・外出支援・仲間づくりのお手伝いをします。	毎月第4月曜日

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
藤棚まつり	地域の方に地区センターとケアプラザを知ってもらえる様に、藤棚地区センターと合同で行います。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第3地区 ふれあい春まつり	地域支援。事務局として運営全般に参加しました。また、健康チェックコーナーを受け持ちます。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚クリスマス コンサート	高齢者の外出支援。ボランティアのコーラスグループと一緒に音楽を楽しみます。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
焼いもを食べよう!	障がい児者・地域支援。とんぼの利用者とボランティアを中心に町内会・学童・放課後デイサービスと一緒に焼き芋大会を行います。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第3地区 福祉フェスタ	地域の方に福祉施設の理解をしてもらうと共に、施設間の連携を図ります。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸室懇談会	貸室登録団体の方に貸室の使い方の説明を行いました。また、団体同士の関係づくりに努めます。	年1回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚ボランティア交流会	ボランティア・講師に日頃の活動に感謝し労いました。また、交流を行い活動の場に活かさせていただきます。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チューリップ体操IN地区センター	健康づくりを目的に、地区センターのラジオ体操時に出向き、チューリップ体操を行います。	毎週月・金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
赤い靴	高齢者支援。ボランティアグループ支援。月1回高齢者向けのミニデイサービスと夕食の配食を行います。	毎月第4土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚茶房	高齢者支援。ボランティアグループ支援。月1回高齢者むけのサロンを開催します。	毎月第1金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援ネットワーク会議	ケアプラザで登録している子育てグループや地域で開催されているサロン・支援者のネットワーク会議となります。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域版広報「ふじだな夢だより」	情報発信を行います。	年6回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアぷらっと歩こう1万歩	西区のケアプラザ4館と主要な施設を巡るウォークラリーをします。	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハッピー子育て講座	子育て家庭を支援し、男性を巻き込んだ地域の繋がり場をつくるキッカケ作り	年3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
げんきいっぱい！ パパと遊ぼう	小さい子どもを持つ子育て中の父親を対象に、育児参加の楽しさを知っていただくことや父親同士の交流・仲間作りを図ることを目的とする。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区サブコーディネーター研修会	サブコーディネーターのスキルアップと西区のケアプラザ4館合同開催によるケアプラザ間の連携と交流	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
3B体操しませんか？	地域の様々な世代（子育て世代・成人・高齢者）を対象に、3B体操を通して親子のふれあいや体を動かす楽しさを知っていただく。また、高齢者には介護予防対策ともなる。	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GOGO脳トレ！	高齢者を対象にドリルやパズル等で頭を使った脳トレ。高齢者の介護予防と外出支援・参加者間の交流を目的とする。	月1回



# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区社協DIY講座	地域の方（特に男性）にボランティアを始めていただくきっかけとして、DIY講座を開催	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食品衛生講習会	地域の会食や配食を行っているボランティアグループ等に食品の取り扱い方法等を再確認していただき、食品衛生管理の徹底、食中毒予防につなげていく。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第2・3・4地区 合同防災フェスタ	地域の方を対象に、防災についての情報提供等を行い、AED体験や起震車での地震体験をすることで、発災時に備えることができる。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚ふらっと ギャラリー	地域の方の趣味等で作成しているオリジナル作品を展示し、地域の方に見ていただくことで心を豊かにし、地域の活性化を図ります。また、出展者を公募し、地域で作品を作成している方の発表の場を作ります。	通年

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おそうじ大作戦！	調理室を使用する貸室団体に向けて、調理室を使用する際の注意事項の再確認、及び団体間の交流を図る。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
折り紙教室	高齢者対象の介護予防・外出支援、ボランティアの活動の場の提供	全2回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ギターをひこう	地域の方（特に男性）にギター演奏や仲間作りの楽しさを知っていただき、将来的にはギター合奏を通じてデイサービス等でのボランティア活動までつなげられることを目指す。また、ボランティアに活動の場を提供する。	全6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サブコ事業（スノードーム）	年に1回、サブコーディネーターに企画・運営を担ってもらい開催する事業。地域活動交流事業の重要な担い手であるサブコーディネーターに主体的に動いてもらうことで、サブコーディネーターの意識・経験・地域の方々とのつながりを高めてもらう。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
聖隷横浜病院出張講演会	聖隷横浜病院（保土ヶ谷区）は元久保町と道路一つ隔てた隣接地区にあり、藤棚地域ケアプラザのエリアの住民が数多く利用している、地域の方々にとって非常に身近な医療機関である。その聖隷横浜病院より、所属医師による地域の方向けの出張講演会を開催したい旨の申し出があり、地域の方々に病気・健康への理解を深めていただく目的で開催する。また、地域の拠点病院のひとつとの連携を図ることも目的とする。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
運営協議会	ケアプラザ運営協議会への事業報告会	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちゅーりっぷファミリーコンサート	母体法人のスケールメリットをいかした地域貢献事業	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区区民まつり	母体法人の西区内事業所及び本部合同で参加し、地域貢献	年1回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネぶらっと	小規模の居宅介護事業所の主任ケアマネジャー・ケアマネジャーを対象に、研修企画、勉強会、交流会を開催	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キラキラ会	ケアプラザで行う事業の運営補助などを通じ、高齢者でも役割を持っていただき、生きがいづくりの場となる。	

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚ハイツ体操クラブ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 藤棚地域ケアプラザを含む、藤棚二丁目自治会の高齢者の活性化を図る。</li><li>・ 体操教室で健康増進を図るとともに、世話係やチームリーダーを任せることにより、個人の役割をもてることができ、生きがいのある生活を送ることができる。</li></ul>	

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
キラキラ会	①地域住民	0	地活	0					
	②20名程度		包括						
	③なし		介護						
			生活						
藤棚ハイツ体操クラブ	①概ね65才以上	0	地活	0					
	②30名		包括						
	③なし		介護						
			生活						
介護者支援	①在宅で介護をされている方	4,610	地活	2,240	0	0	0	0	2,240
	②延べ40人		包括	2,370	0	0	0	0	2,370
	③0円		介護						
			生活						
成年後見制度を学ぼう	①地域住民・ケアマネジャ	0	地活						
	②30名		包括		0	0	0	0	0
	③0円		介護						
			生活						
人生100年時代に備える 資金計画と住まいのこと	①地域住民	0	地活						
	②30名		包括		0	0	0	0	0
	③0円		介護						
			生活						
西区社会福祉士共催事業	①地域住民	0	地活						
	②17名		包括		0	0	0	0	0
	③0円		介護						
			生活						
障がい児者余暇支援 「とんぼ」	①障がい児者	30,104	地活	8,104	22,000	0	0	30,104	
	②10名		包括						
	③100～300円		介護						
			生活						
情報アドバイザー 「eネットにし探検隊」	①地域住民	7,742	地活	7,742	0	0	0	7,742	
	②16名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
山のうえサロン	①高齢者	30,784	地活	19,384	11,400	0	0	30,784	
	②20名		包括						
	③100円		介護						
			生活						
みんなで唄おう	①高齢者	63,564	地活	19,764	43,800	0		63,564	
	②50名		包括						
	③100円		介護						
			生活						
さわやか体操クラブ	①高齢者	109,676	地活	25,876	83,800	0		109,676	
	②20名		包括						
	③200円		介護						
			生活						
ピーナッツクラブ	①0歳～未就園児の親	18,865	地活	6,165	12,700	0	0	18,865	
	②20組		包括						
	③100円		介護						
			生活						
男性料理教室	①男性	6,720	地活	3,360	0	0	0	0	3,360
	②8人		包括	3,360	0	0	0	0	3,360

# 平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
「作味会」	③	0,720	介護 生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額									
	②募集人数	総経費	収入			支出					
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他			
一の会	①地域住民	48,816	地活	16,916	31,900	0		48,816			
	②10名		包括								
	③300円		介護								
			生活								
藤棚まつり	①地域住民	178,983	地活	137,983	0	41,000	0	178,983			
	②		包括								
	③		介護								
			生活								
第3地区ふれあい春まつり	①地域住民	1,000	地活	500	0	0	0	500	0		
	②		包括	500				0	0	500	0
	③		介護								
			生活								
藤棚クリスマスコンサート	①地域住民	5,000	地活	5,000	0	0			5,000		
	②50名		包括								
	③無料		介護								
			生活								
焼いもを食べよう!	①障がい者・地域住民	11,620	地活	1,020	10,600	0	0	11,620			
	②100名		包括								
	③100円		介護								
			生活								
第3地区福祉フェスタ	①地域住民	1,000	地活	1,000	0	0	0	0	1,000		
	②		包括								
	③		介護								
			生活								
貸室懇談会	①貸室団体	6,114	地活	6,114	0	0	0	6,114	0		
	②50名		包括								
	③無料		介護								
			生活								
藤棚ボランティア交流会	①ボランティア	16,115	地活	16,115	0	0	0	16,115	0		
	②50名		包括								
	③無料		介護								
			生活								
チューリップ体操IN地区センター	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0		
	②		包括								
	③		介護								
			生活								
赤い靴	①75歳以上の高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0		
	②40名		包括								
	③		介護								
			生活								
藤棚茶房	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0		
	②20名		包括								
	③		介護								
			生活								
子育て支援ネットワーク会議	①地域住民	4,504	地活	4,504	0	0	0	4,504	0		
	②10名		包括								
	③100円		介護								
			生活								

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
地域版広報 「ふじだな夢だより」	①地域住民	21,836	地活	21,836	0	0	0	21,836	0
	②		包括						
	③		介護						
			生活						
ケアぷらっと 歩こう1万歩	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②10名		包括						
	③100円		介護						
			生活						
ハッピー子育て講座	①0歳～未就園の父子	560	地活	560	0	0	0	0	560
	②10名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
げんきいっぱい！ パパと遊ぼう	①0歳～未就園の父子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②10名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
西区サブコーディネーター 研修会	①サブコーディネーター	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②6名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
3B体操しませんか？	①地域住民	1,120	地活	1,120	0	0	0	0	1,120
	②10名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
GOGO脳トレ！	①高齢者	8,400	地活	0	8,400	0	0	8,400	0
	②25名		包括						
	③100円		介護						
			生活						
区社協DIY講座	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②10名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
食品衛生講習会	①貸室団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②10名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
第2・3・4地区 合同防災フェスタ	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②		包括						
	③無料		介護						
			生活						
藤棚ぷらっとギャラリー	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②		包括						
	③無料		介護						
			生活						
おそうじ大作戦！	①貸室団体	5,945	地活	5,945	0	0	0	5,945	
	②10名		包括						
	③無料		介護						
			生活						

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
折り紙教室	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	
	②10名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
ギターをひこう	①地域住民	4,834	地活	334	4,500	0	0	1,474	3,360
	②8名		包括						
	③500円		介護						
			生活						
サブコ事業(スノードーム)	①地域住民	8,690	地活	3,290	5,400	0	0	8,690	
	②10名		包括						
	③300円		介護						
			生活						
聖隷横浜病院 出張講演会	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②50名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
運営協議会	①運営協議会委員	24,098	地活	24,098	0	0	0	24,098	0
	②17名		包括						
	③無料		介護						
			生活						
ちゅーりっぷファミリーコ ンサート	①未就学児と家族	10,000	地活	10,000	0	0	0	10,000	0
	②		包括						
	③無料		介護						
			生活						
西区区民まつり	①地域住民	2,098	地活	2,098	0	0	0	2,098	0
	②		包括						
	③無料		介護						
			生活						
ケアマネぶらっと	①ケアマネジャー	0	地活						
	②		包括						
	③無料		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。